

服育net研究所



2022年度  
報告書

## 服育 net 研究所について

服育 net 研究所は、服育に関する調査・研究、及び普及・啓発を進めるため設立されました。

誰にとっても身近で毎日必ず着用する衣服は、生活の基本であるだけでなく、

世界の様々な事柄とつながる「着る」以上の可能性を含むものです。

私たちはその衣服の力を一人でも多くの方へ伝え、

服育の輪を広げていきたいと考えています。

服育を通して生まれた衣服を大切にす気持ちや衣服について考える思考は、

豊かなこころを育み、「生きる力」の醸成へとつながっていきます。

## 服育研究所の目的

■服育に関する調査・研究を行い、衣服の持つ力についてより多くの人へ伝えるべく服育の普及・啓発活動に取り組む。

■服育を通して豊かなこころを育み、生きる力の醸成へとつなげていく。



## No.1

## 服育ラボ定期セミナー

目的：服育の多様なテーマを、より専門的に学ぶ場として開催  
対象：学校・教育関係者

## 学生達が挑んだSDGs プロダクト開発

～環境や福祉について実践的に学ぶ意義～

日時：2022年8月1日（月）

形式：オンライン（ZOOM webinar）

講師：関西大学 商学部 教授 横山恵子



## No.2

## LGBTQ セミナー

### LGBTQ を認識した上での学校教育 セミナーを日本各地で開催。

講師：宝塚大学 看護学部 教授 日高庸晴

内容：セミナー「LGBTQ を認識した上での学校教育」

DVD 上映「LGBTs の子どもの命を守る学校の取組

①危機管理としての授業の必要性」

## ●熊本

日時：2022年5月21日（土）13：30～16：00

場所：熊本城ホール 3F B1～B3

主催：一般社団法人九州校服会

共催：九州服育研究会

後援：熊本県教育委員会、熊本市教育委員会



## ●北海道

日時：2022年6月25日（土）13：30～16：00

場所：札幌エルプラザ 4F 大会議場

主催：服育 net 研究所

後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会



## ●兵庫

日時：2022年12月3日（土）13：30～16：00

場所：兵庫県学校厚生会館 3F 大会議室

主催：服育 net 研究所

後援：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会







## No.6

## 全国の服育研究会とのコラボレーション

## ①京都服育研究会

京都府内において標語を募集。ポスターを作成し学校へ配布。  
テーマ：私の通学服

## ②九州服育研究会

LGBTQ セミナー開催。(詳細は No.2 LGBTQ セミナー参照)

## ③東京服育研究会

エコプロダクツ展(東京)に出展。



## No.7

## その他セミナー等

NEW

## 私たちのSDGs ～繊維製品の循環をめざして～

## トークショー参加

繊維製品の廃棄から生まれる環境負荷について自分ごととして考え、  
来場者とともに“つくる責任・つかう責任”を共有するイベント。

日時：9月10日(土) ※イベントは9日、10日の2日間開催

場所：なんばマルイ(大阪)

主催：エン・ウィ・クル(9つの大学が参加する団体)  
株式会社 Style Agent (Sustainable Department 企画)

共催：(一社)日本繊維機械学会・繊維リサイクル技術研究会  
(一社)日本繊維機械学会・フェロー会  
NPO 法人未利用資源事業化研究会





No.8

学びツール（服育教材）

グループワークツール

制服の一生すごろく

目的：制服の一生（原材料－縫製－着用－リサイクル・廃棄）すごろくを通して、制服のライフサイクルと各段階の環境影響について知り、環境のために自分にできることを考えるきっかけとする。



服育着こなしワークシート

目的：「着衣と着用場面のふさわしさ」について考え、普遍性のある「着こなし」を身に付ける。



参加型ツール

第13回服育標語ポスター

目的：制服についての思いを言葉で表現し、改めて制服について考えるきっかけとする。

テーマ：スクールユニフォーム  
 応募資格：特になし  
 応募総数：約3500通  
 最優秀作品：「着こなしで 笑顔広がる 服反応」



動画ツール

服育動画をYouTubeで公開。  
 自由に視聴し、授業等で活用してもらった。



個人ワークツール

衣服について楽しく学ぶことのできるツール。  
 ダウンロードしての活用も可。  
 ・服育四コマまんが  
 ・クロスワード



ものづくりツール

NEW

バトンバッグ・ローカルアクション

人と人をバッグでつなぐ「バトンバッグ」のスキームを日本国内で行う「バトンバッグ・ローカルアクション」をスタート。  
 未活用制服生地を活用し、福祉事業所でバッグに仕立て、それを購入した学校が自由にアップサイクルし、それを販売することで自分達の活動を広げていきます。



バトンバッグ・ローカルアクション Baton Bag. Local Action

## No.9

## 産学連携

## 関西大学「衣の魔女」プロジェクトとの連携

「環境×福祉」の視点を持ったものづくりで  
社会課題の解決を目指す「衣の魔女」プロジェクトに参加。



## No.10

## 学校での服育セミナー、服育授業

要望や状況に応じてリアル、もしくはオンラインにて開催。

## ① 制服着こなしセミナー

TPOの意味や制服をきれいに着こなすコツなどについて講演。  
主に新入生向けに、全国の小中高で開催。

## ② 社会に出る前の着こなしセミナー

社会に出る前の生徒（高校3年生）に対して、社会人としての  
衣服（スーツ等）の意味やTPOに応じた着こなしについて講演。  
キャリア教育の一環としての依頼も。

## ③ 支援学校・支援学級でのセミナー

支援学校や支援学級に通う障がいを持つ生徒向けに、服の着こなしの大切さやポイントについて分かり  
やすく説明。セミナー後に自分達で服のコーディネートを考え、ファッションショーを行う学校も。



## No.11

## その他 情報発信

## ① 学校向け情報誌「SORA」

隔月発行、主に教育関係者を対象に配布



## ② 企業向け情報誌「TAKE」

季刊、主に企業を対象に配布



## ③ メルマガ「fukuiku e-journal」

毎月発行

## ④ 服育ホームページ

<http://www.fukuiku.net/>



## ⑤ 服育 facebook

<https://www.facebook.com/fukuikuchikuma/>

## ⑥ 服育チクマ instagram

[https://www.instagram.com/fukuiku\\_chikuma/?hl=ja](https://www.instagram.com/fukuiku_chikuma/?hl=ja)



## 服育 net 研究所

株式会社チクマ キャンパス事業部

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-3-10

tel.06-6222-3531 fax.06-6222-3614 e-mail fukuiku@fukuiku.net

服育ホームページ <http://www.fukuiku.net/>